平成２９年度　北杜会同好会活動報告書

同好会名：　昼サッカー同好会
代表者・所属：　理工学部物理材料理工学科　中西　良樹
活動日時・場所　平日毎昼１２時１５分～１２時５５分　・　岩手大学グランド
援助金：　３００００円
使途：ビブス　１２０００円
サッカーボール　６０００円
消耗品　３０００円
交際費　９０００円
合計　３００００円

活動内容

理工学部を中心に全学を含む岩手大学史上最大の構造改革が実施され、２０１６年４月から新生岩手大学２０１６がスタートした。この改組準備並びに改組後の運営、整備修正に携わっている理工学部構成員に一時の「息抜き」と「健康増進」を目的に本同好会は本年度の設置趣旨を宣言してきた。大学を取り巻く環境がここ数年で急変し、その対応に戸惑いと不安を隠せない構成員も少なからずいる。こうした構成員にストレスをはじめとする精神的・肉体的苦痛は容赦なく襲いかかろうとしている。科学技術の発展とともに我々の生活スタイルは大きく変貌し、「利便性追求」一辺倒に陥りがちとなっている。本来であれば科学技術の発展により効率化が進み、生活の中に時間のゆとりが生じる筈であるが、実際はより労働時間が長く、PC に拘束された業務時間が単調に増加している。多忙化の波を誰も止められない状況になりつつある。勤務時間中、全身万遍なく動かす業務は特殊なものを除いて減少の一途を辿り、着席した状態で指先と目を著しく酷使する肉体的には偏った負荷の業務内容へと変貌している。仕事を通じた他人との交流も PC を通じた無機質な内容となり、人と人とが面と向かって共に行う業務も効率化の波を受けて急激に減少してきている。この状況に甘んじると大学内の業務によって構成員の孤立化を促進し、人と人との交流が極めて希薄になってしまう。これまで以上に強く意識してこうした普段の業務・生活を見直す必要もある。個人で問題を打開するには極めて難しいこうした状況をなんとか改善するためにも本活動は位置付けられている。大学に勤務している間、一時でも Quality of Life (QOL)の視点から、人と人とが交流し健康的な汗を一緒に流すことで人間らしい一体感を少しでも味わえる機会を継続的に設ける機会にもしたい。この活動を通じて心身ともに健全な状態で大学業務に取り組める状態を生み出す好循環スパイラルの契機としたいと考えている。

我々は本年度も昼サッカー同好会の活動を平日、可能な限り毎日、実施してきた。こうした活動は肉体的な健康維持のみならず、“人間が健康的に且つ幸せに生きていく”為の精神的な健康（リフレッシュ）の維持にも大きな効果を及ぼす。まさに QOL の追求につながっている。また、本同好会は北杜会員のみならず学生達の参加も歓迎しており、実際、多くの学生達と活動を共にしてきた。これは通常の授業における教員と学生の触れ合いのみならず、共通の趣味を共有することで大きな信頼関係を築く貴重な機会を提供し、想像以上の教育効果ももたらしてきた。こうした意味から、近年、少子化に伴い多様化する学生の深刻な問題である“引きこもり”、“ニート”、“無気力”、“自己愛の膨張”、“コミュニケーション力の著しい欠如”等、社会問題の軽減および防止にも大きく寄与できたと考えられる。

今年度の援助金をもとに購入した物品で、健康的に“出来るだけ毎日”汗を流すことが出来ました。今回の援助金に対して深く感謝致します。有り難うございました。来年度も引き続き宜しくお願い致します。